

# 株式会社フォーバル、ITトレンドエキスポ2025にて特別講演 きづなPARKで、中小企業の財務・非財務経営情報を可視化し、 伴走支援で赤字脱却！

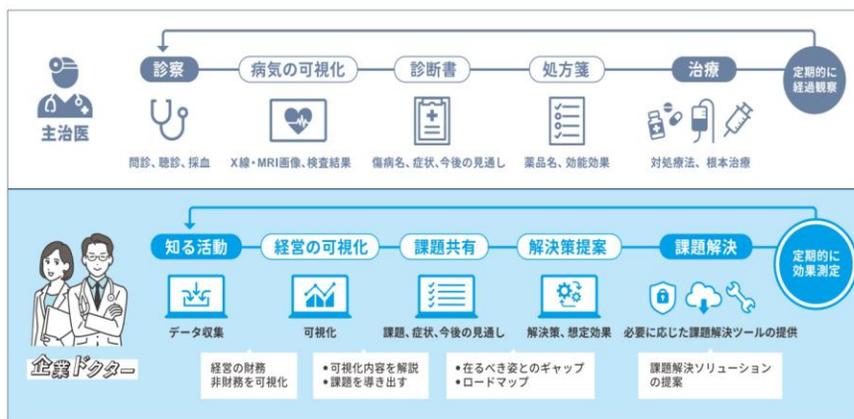
『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、ITトレンドエキスポ2025に参加し、オンラインで特別講演を実施。中小企業が保有している「経営情報」をデータとして可視化し、中小企業経営者とその支援者にて利用・活用するサービスであるきづなPARKについて説明しました。



## 中小企業の現状と企業ドクターの必要性

講演では、執行役員 きづなPARK統括部長 今西 了一より、中小企業が直面する課題について話しました。

「コロナ禍を経て、中小企業の資金繰りは回復傾向にあると言われてはいますが、決して楽観視できる状況ではありません。むしろ、人材不足、情報不足、そして資金不足という三重苦に直面している企業が多いのが実情です。DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みも増加傾向にありますが、多くの企業が思うように成果を上げられていないのが現状です。こうした課題を乗り越えるためには、企業ドクターのような存在が必要不可欠です。人が体調不良の際に医者にかかるように、企業も専門家のアドバイスやサポートを受けながら、課題解決に取り組むことが重要になります。」



# きづなPARKについて

さらに今西より、きづなPARKについてより詳しい説明をしました。

「中小企業はデジタル化の遅延、経営資源の不足に加え、複雑化する経営環境への適応という課題に直面しています。「きづなPARK」は、これらの課題に対し、企業の財務・非財務情報を可視化し、客観的な経営状況の把握と戦略的な意思決定を支援する情報基盤です。本プラットフォームでは、企業のDX推進状況やESG（環境・社会・ガバナンス）に関する評価を通じて、市場における自社のポジションを明確化します。企業が自社の経営データを蓄積することで、経営改善に資する各種レポートを生成し、課題の特定と解決を促進します。さらに、専門家による伴走型サポートおよび企業ドクターによるアドバイザーサービスを提供し、具体的な改善策の実行を支援します。アンケートや財務データを基に、現状分析から課題設定、目標達成に向けたスコアリング向上まで、包括的なサポートを実施いたします。「きづなPARK」は、中小企業の経営情報を集約し、企業間の連携を促進することで、持続的な成長を支援する次世代型プラットフォームを目指します。

「きづなPARK」webサイト：<https://kdn-park.biz>



## 成功事例（一部抜粋） | 東村山市

続いて今西より「産」「官」「学」「金」と連帯しながらネットワークに重点を置いた伴走型支援をすることの大切さについて説明しました。その後成功事例の紹介があり、自治体の例として東村山市や佐賀県での成功例の紹介がありました。とくに東村山市では働く女性へのDX支援を通して支援企業のDX推進度が12.4ポイント向上するという成果がありました。

### 【事例】地域連携（中小企業のデジタル化推進事業）

きづなPARK

可視化 伴走支援 自治体名：東村山市

DX推進を目的に、デジタル技術の活用による業務変革に取り組む東村山市内の中小・小規模企業に対して、DXアドバイザー（専門家）による2023/8～2024/2の6ヶ月間の伴走支援を実施。

#### ▼ 基礎セミナーから伴走支援までの3つのSTEP

- STEP 1「DX基礎セミナー」DXの必要性の理解
  - STEP 2「DX基礎研修」DXの進め方の理解
  - STEP 3「DX伴走支援」DXの実践
- STEP 3-1 業務フロー、ビジネスフローから現状の可視化、課題の整理を実施
- STEP 3-2 DX計画を策定
- STEP 3-3 業務効率改善やビジネスモデル変革のために必要なデータの収集や分析、提案
- STEP 3-4 実施途中の効果測定

平均前値	1回目	2回目	差分
DX推進度	26.3	38.9	+12.4
DX推進体制の整備	4.0	5.8	+1.8
デジタル化デジタル技術の活用	15.0	20.6	+5.6
DX人材の育成	2.6	2.8	+0.3
ビジネスモデルの改革	4.9	9.7	+4.8

DX推進度  
+12.4  
点

可視化 自治体名：佐賀県

県内企業等を訪問し、ヒアリングを通じてデジタル技術で解決可能な潜在的な課題を抽出し、解決策の提案や助言を行うとともに、DXへの一歩を進ませるための手段として、スマート化センターへの相談を促す。

※スマート化センター：<https://karatsu-dx.jp/>

「唐津市DXイノベーションセンター」デジタル技術を活用した生産性向上や新たなビジネス創出を支援するために、いつでも気軽にDXに関する最先端の知識を学び、経営課題を解決する糸口を見つけることができるセンター

平均値	佐賀県
DX推進度	17.4
DX推進体制の整備	2.1
デジタル化デジタル技術の活用	14.6
DX人材の育成	0.3
ビジネスモデルの改革	0.4

登壇者：今西 了一（いまにし としかず）

## 執行役員 きづなPARK統括部長

「日本DX 地域創生応援団」（旧・デジタル田園都市国家構想応援団）理事  
レジリエンスジャパン推進協議会 「ビジネスレジリエンス」  
DXプラットフォーム構築戦略会議 企業委員



## ■行政連携実績

茨城県 「DXイノベーション推進プロジェクト」  
デジタル庁 「GIGAスクール構想」 アンケート分析事業

- ・内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局  
（旧 デジタル田園都市国家構想実現事務局） デジタル専門人材派遣事業
- ・中小企業庁 事業環境変化対応型支援（デジタル化診断）事業

## 株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」であるフォーバル（資本金：41億5000万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

## ■会社概要

社名：株式会社フォーバル  
代表：代表取締役社長 中島 将典  
設立：1980年（昭和55年）9月18日  
所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階  
URL：<https://www.forval.co.jp>